

また、洋モス爭議應援内閣打倒演説會(十一、八)(東京府聯主催)には辯士全員を動員して、澁谷公會堂以下約四十箇所の演説會場に二萬の大衆を動員せることはまた記憶すべき一の闘争であつた。

四、選挙闘争應援

大阪府會、栃木縣會、函館市會、川崎市會、六郷町會等に於ける選挙闘争には常に選挙部と協力して努力を拂つた

(選挙部報告参照)

五、日常宣傳闘争

吾宣傳部は常に組織の尖端に立つて、あらゆる日常闘争をした。特に十月二日の勞農議會の後を受けて、芝協調會館と本所公會堂に於て開催したる民衆大會は今年度掉尾に於ての成功的な宣傳闘争の一つであつた。

以上は我宣傳部闘争活動の素描に過ぎない。然し乍ら吾々は上記の素描の下に於て、極度の勇敢なる闘争を戦ひ抜いて来たことを公言する。然かも吹きすすむ反動の嵐、×に軌えた支配階級の極度の彈壓の下に於て、中止と棟束と拘留と監禁と尖筆と××とのまつた×中に、常によく戦ひ抜いて来たことを鐵腕の支部大衆と共に誇りとする。

十、財務部報告

部長 高橋長太郎

昭和五年度本部収入の大部分は維持員の據出になるものである。これを例へば黨が結成された七月二十一日から第一回中央執行委員會報告書の締切り日たる九月七日までに支出された金額は七百三十六圓五十二銭であるがこれに對して、黨費收入としては岐阜縣三邊、東京府北豊島西北支部等より僅かに金五圓の収入があつたに過ぎぬ。

そこで本部財務部は九月十四日の第二回中央執行委員會に對して「各支部は一ヶ月一圓宛黨費の分納を爲すこと」他款項の決定を提案しこれが可決さるゝに及んで始めて黨費收入の上に自信と光明を持つに至つたのである。以下幾つかの表にわけて報告する。

財務部收支一覽(自昭和五年七月廿一日至昭和五年十一月十日)

黨費收入	三三〇.五〇
演説會收入	一二五.〇〇
旅費收入	一一.二五
不足金	三〇.七四

【参考表】

黨費收入内訳

秋田縣鹿角支部	五.〇〇
秋田縣雄物川支部	一〇.〇〇
群馬縣強戸支部	一五.〇〇
群馬縣中野支部	五.〇〇
埼玉縣川口支部	一.〇〇
埼玉縣横曾根支部	一.〇〇
埼玉縣芝村支部	一.〇〇
埼玉縣南平支部	一.〇〇
東京府西北支部	三.〇〇
東京府牛込支部	一.〇〇
東京府寺島支部	一.〇〇
東京府本田支部	一.〇〇
東京府向島支部	一.〇〇
東京府第一支部	二.〇〇
東京府南葛支部	二.〇〇
東京府四谷支部	一.〇〇
東京府小松川支部	一.〇〇

吾各黨員負擔金收入

維持費收入	七二六.〇〇
收入合計金	一、四四六、七五

支出

電報、電話、郵券費	一六五、一一
交通費、旅費	五一、七四
文房具費	四、七一
用紙、帳簿費	七五、八八
印刷物費	八〇、八〇
會場費	一一〇、〇〇
機關紙補助	二七三、三四
事業部補助費	一四、〇〇
備品費	一七、一七
勞農議會費	二二八、二九
家賃	一八〇、〇〇
人件費	二四一、三〇
雜費	三五、一五
支出合計金	一、四七七、四九

收支計算